

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（共通）

※すべての評価細目（55項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
I-1-(1)-①	理念が明文化されている。	Ⓐ・b・c
I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・b・c
コメント ・園の特徴が真宗保育（仏教保育）であり、心豊かな人格形成を目指している。「頑張らなくもいい保育」を保護者に日々の生活の中でそっと伝え、子どもたちが安心して過ごせる居場所を作っている。 ・「1. 慈悲 やさしい心、2. 無我 すなおな心、3. 因縁 つながり」を保育目標に掲げ、子どもだけではなく保育士も、共育共生（ともに育ち・ともに生きる）できることを願って日々の保育を行っている。		
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
I-1-(2)-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・b・c
I-1-(2)-②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・b・c
コメント ・理事長が毎月、保育目標を分かりやすく掲示板に書き、その言葉の中から職員が感じたこと・自分が思うことを月1回職員学習会の中で話し合い、保育に対する思いや自らの生き方を考える機会にしている。それは、育児に悩み、奮闘している保護者の心の支えにもなっている。		

I-2 計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
I-2-(1)-①	中・長期計画が策定されている。	a・c
I-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a・c
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		
I-2-(2)-①	計画の策定が組織的に行われている。	a・b・c
I-2-(2)-②	計画が職員や利用者に周知されている。	a・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期計画として「認定こども園」の構想があり、各年度の事業計画は文書化していたが、中長期計画は明文化されていなかった。保育園として今後の目標を実現する為には、職員・保護者・地域の協力が不可欠であり、具体的で分かりやすい中長期計画を明文化することが望まれます。 ・園の運営に関する計画は、職員会議で話し合い策定している。最近では、併設する幼稚園も給食にしてほしいとの意向があり、給食室を改装し、週3回幼稚園も給食を提供している。来年からは、保育園と幼稚園の年長クラス同士の交流を多くしていく予定である。 ・事業計画は職員会議で決められ、年度末には反省・評価を行ない次年度の事業計画に反映し、入園進級説明会の折に保護者へ伝えている。 		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a・b・c
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職務分担表を作成し、園長の職務と責任を明記している。今年度、園長が交代となり、まず保育士全員に「どのような思いで、保育をやっているのか、自分が今後何をやっていきたいか」レポートを提出させ、それをもとに園長として今後、何をやっていくかを検討し、一人一人にコメントを返していた。 ・法令の改正などの情報は、保育園共同事務所や園長が参加する園長会、保育協会などから収集し、重要なことは職員会議等の機会に職員へ周知している。 		

I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。		Ⓐ・b・c
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。		Ⓐ・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシェアリングを導入し、数多くの保育士等を雇用している。日数や時間が短くてもみんなで助け合う土壌ができており、職員の定着率も高く、保育サービスの質の向上にもつながっている。 ・経営管理は、理事長が行っており、保育の質を落とさない程度に経費を見直し、人件費や修繕費等の積み立てを行なっている。 		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。		Ⓐ・b・c
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。		Ⓐ・b・c
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。		Ⓐ・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや世帯数については、役場からの資料で把握している。最近では町立の2ヶ所の保育園が1ヶ所に合併し、入園を受け入れていない状況の為、私立の保育園に入園児が多くなっている状況である。 ・保育に差し支えない程度で省エネに取り組んでいる。過去三年間の電気使用量を掲示し、無駄な経費の削減につながっている。 ・給与・会計等を委託している外部の会計事務所に、助言・指導を受けている。人件費についてや様々な助言に基づいて経営改善を行っている。 		

II-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	(a)・b・c
II-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a・b (c)
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正職員・パート職員・代替職員と職員の数は十分揃えている。実習生の中から採用することも多く、常に受入れなどのルートを確保している。 ・昇給は差をつけて支給したいという思いもあるが、今のところ一律にしている。組織を活性化するためには、必要に応じて誰でもわかりやすい客観的な基準を設定し、質の向上をはかるのも一つの方法である。 		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	(a)・b・c
II-2-(2)-②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園長と保育士で個別面談を、年一回行っている。また必要に応じ面談を行い、保育士の意向などを把握している。 ・健康診断やインフルエンザ予防接種、保育着等は職員からの希望により、園が全額負担している。 		

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		第三者評価結果
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。		a・b (c)
Ⅱ-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。		a・b (c)
Ⅱ-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		a (b) c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する技術的な面は外部研修で、人間性を高める面では内部研修でと研修をおおよそ使い分けているが、教育・研修に関する基本姿勢は明示されていなかった。川棚みのり保育園が目指す保育サービスを実現するために求められる、職員の考え方や具体的な目標を文書化することが求められます。 ・年長クラスの担任を受け持つと年長クラス対応の研修に参加し、障害児や発達障害児を含んだクラスを受け持つとそれに関連する研修に参加させている。しかし現時点では、保育士一人一人に対しての研修計画を立ててはいないとのことであった。今後学びたい事・進んでいきたい方向性は、保育士一人一人様々であり、個別の研修計画の策定が必要であると思われる。 ・研修後は研修報告書を作成し、職員会議で報告を行っている。最近では、園長が参加した会議で危機管理について、給食研修で離乳食について学んだことを現場で実践している。今後、研修を一過性で終わらせることなく、受けてきた内容が現場で活かされているか定期的に検証し、次の計画に反映することが望ましい。 		
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		第三者評価結果
Ⅱ-2-(4)-① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。		(a)・b・c
Ⅱ-2-(4)-② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「次世代の大切な育成支援であること」を実習生受け入れの基本姿勢とし、受け入れには積極的である。受け入れ窓口は主任であり、職員には事前に職員会議で伝え、マニュアルに沿って受け入れできるように取り組んでいる。 ・実習生の希望がない場合には、0歳児クラスから順に子どもの発達・成長していく姿を把握できるようなプログラムを用意している。 		

II-3 安全管理

		第三者評価結果
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。		(a)・b・c
II-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。		a・(b)・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラスに危機管理マニュアルを用意している。大事故につながりそうな事故や、ヒヤリハットする事があれば、すぐに担任を集め、緊急会議をする場合もある。 ・職員会議でヒヤリハットの事例を収集し、対応策の検討を行っている。しかし、対応策の一部が実施されていなかった。対応策が確実に実行されているか、実行後効果があったのか等、定期的な検証が必要であると思われる。 		

II-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。		(a)・b・c
II-4-(1)-② 施設（事業所）が有する機能を地域に還元している。		(a)・b・c
II-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の保育体験や敬老会への参加、園の運動会、夏祭り等の行事を通じ、子ども達と地域の相互交流に積極的である。 ・子育て支援センターの活動にも積極的であり、月2回行なう保育サークルは約20組の参加があり好評である。町の会報や地元のスーパー等で園児の保護者以外にも広報されている。離乳食についてや子育てへの漠然とした不安に関しての相談事例が多いとのことである。 ・絵本の読み聞かせや、園の送迎時の交通整理・見守り、畑の提供や遊具の補修等3名程度のボランティアを受け入れている。全員が地元の方で、トラブル等の危険性はないとのことである。 		

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者評価結果
Ⅱ-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	(a)・b・c
Ⅱ-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政・保健所・民生委員・幼稚園・小学校・病院等様々な機関と連携を結んでいる。 ・行政の保健師と連携し、「気になる子ども」「子どもとの関わり方に問題がある保護者」等の情報交換が行われている。また、スーパービジョンの会に参加し、支援の困難な事例研究等にも積極的に関わっている。 		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	(a)・b・c
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターを併設しており、地域のニーズを常に把握している。また、保護者会等でニーズを聞き取り、障害児保育、延長保育、一時保育、休日保育等に取り組んでいる。 		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一日一日を、一人ひとりをじっくりと丁寧に愛情を持って接していき、その中で子どもが本来持っている伸びようとする力の芽を摘み取ることのないように環境を整えてあげることが保育者の役目である」という言葉をホームページにも掲げ、職員学習会の場等で意識を向上するための取組をおこなっている。 ・「みんな仏の子どもとして敬愛の念を持って保育にあたる」という保育方針は、子ども一人ひとりを大切にすることである。 		
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a・b (c)
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの写真の掲示等は入園式の際に保護者の了解を得る、ホームページに子どもの写真を掲載しない等プライバシーの保護に取り組んでいるが、規程・マニュアルは整備されていなかった。職員の数も多いので、プライバシー保護に関する考え方、場面に応じた留意点等を周知徹底させるためにマニュアルの整備や研修が必要だと思われる。 		

Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		第三者評価結果
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の上を意図した仕組みを整備している。	a (b)・c
Ⅲ-1-(2)-②	利用者満足の上に向けた取り組みを行っている。	a (b)・c
<p>コメント</p> <p>・入園・進級時に「お気づきのこと・不愉快なこと・改善してほしいこと 何なりとお申し出ください」と記載した文書を保護者に配布し、保護者会・連絡帳・ご意見箱等で、保護者の意向を把握している。今後は、日頃お世話になっている職員には、直接いいにくい要望や意向を把握するために定期的にアンケート調査を行なう等の取組が期待される。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	(a)・b・c
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	(a)・b・c
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	(a)・b・c
<p>コメント</p> <p>・入園・進級時に苦情対応についての文書を配布している。苦情解決責任者の園長、苦情受付担当者の主任の名前、自宅の電話番号が明記され、第三者委員2名の名前、電話番号も記載されている。また、ご意見箱も設置されている。</p> <p>・朝・夕の送迎時には、園長・主任もできるだけ保護者に声をかけ、話しやすい雰囲気作りを心がけている。苦情や意見は園長・主任まですぐ届く体制となっており、職員会で検討している。</p> <p>・保護者からの意見は、苦情や要望と同様に、職員会で検討され、9月・12月・3月の園だよりで対応結果を公表している。</p>		

Ⅲ-2 サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a (b)・c
Ⅲ-2-(1)-②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a・b (c)
Ⅲ-2-(1)-③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a・b (c)
<p>コメント</p> <p>・指導計画の反省会を毎月行なう等、保育サービスの質の向上にむけての取組に積極的である。今回の自己評価・保護者アンケート・第三者評価の結果を受けて、再度全職員で取り組むべき課題を明確にし、改善案を立て実施することが重要である。今後の取り組みに期待したい。</p>		
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
Ⅲ-2-(2)-①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	(a)・b・c
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	(a)・b・c
<p>コメント</p> <p>・登降園や病児受入、感染症対応・危機管理等マニュアルが整備され、各クラスに配布されていた。マニュアルの追加や見直しも定期的に行なわれているということであった。</p>		

Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	(a)・b・c
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・(b)・c
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月・週指導計画書には、計画に基づくサービス実施記録が確認できた。また、3ヶ月に一度（0歳児は毎月）全ての子どもについて、保育経過を記録している。 ・守秘義務遵守に関する理事長の講話や、記録を廃棄する際、業者に直接持ち込む等記録の管理についての配慮はなされているが、規程は整備されていなかった。記録の保管場所や保管方法、保存と廃棄に関する規程の整備が望まれます。 ・保育経過記録や健康管理の記録等こどもの状況に関する情報は、各クラス毎にファイルされ、関係する職員が閲覧可能となっている。特に、保育経過記録は、一年間のこどもの記録が見開き一枚で見ることができるよう工夫されていた。毎月の反省会や職員会議等情報交換に関する会議も定期的実施されている。 		

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

		第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	(a)・b・c
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページには、保育園の理念や歴史、保育内容等が公開され、パンフレットが役場にも設置されている。一時保育や子育てサークル等で園の様子を体験する利用者も増えてきている。 ・入園のしおりには、1日の過ごし方、年間行事が表でわかりやすくまとめられている。延長保育や休日保育については説明用の資料が整備されている。 		
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・学童保育施設が隣接され、保育の継続性を損なわない仕組みである。特別支援が必要な子どもの情報は文書等で伝達しているが、プライバシーや子どもへの先入観をもたれないよう配慮している。 		

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	(a)・b・c
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アレルギーや食事、体の発達で気になるところ」等、クラス担任が所定の書式に基づいて聞き取りを行なっている。さらに、0歳児や一時保育の児童については、専用の書式があり、詳しく聞き取りを行なっている。 ・毎月クラス毎に、反省会を行い、園長や主任、複数の保育士等が子ども達の身体状況・生活状況を把握し、子どもの個性に対応した課題やねらいを策定している。離乳食の内容等を連絡帳に記載する等、こどもの発達状況について、保護者との情報共有にも積極的である。 		
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	(a)・b・c
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず年間指導計画書が作成され、子ども一人ひとりの育ちを考慮し、月案・週案が計画されている。月案・週案の作成担当者は保育士全員が経験できるよう交代制である。毎月クラスの反省会が行なわれ、週案・月案で計画されたサービスの実施内容の確認や計画の評価が行なわれ、翌月の週案・月案に活かされている。 ・指導計画書やサービスの実施記録、計画の評価等は、毎月園長・主任が確認する等、組織的な指導・教育が行われる仕組みである。また、年度末には年間指導計画書の評価を行ない、次年度のクラス担任に引き継ぎを行なっている。引き継ぎの際には、①こども一人ひとりの特性をとりまとめた表を作成する、②低年齢のクラスでは、保育士の内一人がクラスに残り、一人が子どもと持ち上がる等子どもへの配慮がなされている。 		